

A. 主な動き

1. 内政

・1日、ヴォローニン共産党党首は、同党は政治目的での使用が禁じられた「鎌と槌」のシンボルの使用を継続する旨発言。

2. 経済

▼IMF

・2日、IMFは、9月28日に開催されたIMF理事会において、モルドバとの長期貸し付け及び拡大信用供与制度合意の下での第5回目のレビューを完成し、モルドバが約7,700万ドルを直ちに使用することが可能になった旨発表。

▼農業

・2日、ブマコフ農業食品産業相は、本年1月～9月までの9ヶ月間におけるワイン輸出総額が対前年同期比21%増の1億ドルに達した、ポーランド、ルーマニア等のEU向けは50%増、中国向けは倍増した旨発言。

3. 外政

▼ティモフティ大統領のストラスブール訪問

・3日、ティモフティ大統領は、ストラスブールを訪問し、ミニョン欧州評議会議員会議(PACE)議長と会談。ミニョン議長は、欧州議会に対するモルドバの義務の実施状況を高く評価し、PACEは沿ドニエストル紛争の解決過程を注視しているとして、2日にロシア軍のモルドバからの撤退を求める決議を採択した旨発言。ティモフティ大統領は、PACEのモルドバに対する支援に謝意を表明し、共産党の問題等の国

内政治状況に関し協議。

・同日、同大統領は、ヤーグラン欧州評議会事務総長、ブラツァ欧州人権裁判所長官及びブキッキオ・ベニス委員会議長等と会談し、モルドバの欧州統合及び司法分野における改革等に関し協議。

▼その他

・4日、ラザル副首相兼経済相は、モルドバは2017年までにEUの第2次及び第3次エネルギー・パッケージのうち垂直統合型事業者の事業分割に関する1項目を除く全ての履行を達成する旨発言。

4. 沿ドニエストル

・3日、シュタンスキ「外相」は、モスクワを訪問し、カラーシン露外務次官と会談。双方は、ロシアと沿ドニエストルの協力問題及び「5+2」フォーマットにおける交渉プロセスの状況に関し協議。

・4日、沿ドニエストル「最高会議」は、ウクライナに対し一方的な国境画定作業を中止するよう求める声明を発表。

5. 防衛

・1日、モルドバ国防省は、モルドバ軍が実施している軍事演習に沿ドニエストル軍の代表を招待、本視察は5日まで行われる旨発表。

・3日、マリヌツァ国防相は、サラエボで開催された東ヨーロッパ国防相会議に出席。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)